

生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2014

一人・スポーツ・未来

開催要項

1 開催趣旨

我が国においては、自由時間の増大、体力・健康づくりへの国民の関心の高まりなどを背景にスポーツ需要が増大しており、誰もがいつでもどこでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するための環境の整備が求められています。

また、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進には、国や地方公共団体はもとより、各種スポーツ・レクリエーション団体や、スポーツクラブ、学校関係者さらにはスポーツ関連産業団体等が、相互に連携・協力することにより、トップスポーツと地域スポーツの「好循環」を生み出し、支え合いと活気のある社会をつくるため、自発的に協働するスポーツによる「新しい公共」を形成することが重要です。

このため、関係の各界各層の人々が一堂に会し、地域におけるスポーツ推進の現状及び課題について、研究協議や意見交換を行い、相互理解を深め、関係者間の協調・協力体制の強化と生涯スポーツ社会の実現に向けた機運の醸成を目的とし、本全国会議を開催するものです。

2 主催

文部科学省

生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会

公益財団法人日本体育協会

公益財団法人日本レクリエーション協会

公益財団法人日本体育施設協会

公益財団法人スポーツ安全協会

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

公益財団法人日本障害者スポーツ協会

公益財団法人健康・体力づくり事業財団

山口県

3 後援

体力づくり国民会議

4 全体テーマ

「次世代に繋ぐ新たなスポーツ環境の創出に向けて」
～私たちは未来からスポーツを託されている～

平成24年3月に「スポーツ基本計画」が策定され、国、独立行政法人、地方公共団体、学校、スポーツ団体及び民間事業者等の多様な主体は、スポーツの意義や価値が広く国民に共有されるため、様々な取組を推進している。

スポーツの推進に当たっては、スポーツを実際に「する人」はもとより、スポーツを「観る人」、「支える（育てる）人」にも着目し、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境を整備することが必要である。

とりわけ、スポーツを「支える（育てる）」役割を担っているスポーツ指導者は、地域スポーツクラブやスポーツ少年団、運動部活動、ナショナルチームやプロリーグ等のトップスポーツに至るまで、共通してスポーツ実施者（競技者やチーム）を支える重要な主体である。

今般、スポーツ指導において暴力を行使する事案が明らかになったことは、スポーツの価値を損なうものであり、スポーツ界を挙げてその根絶に取組み、スポーツの健全性を回復する必要がある。

そこで、本会議では、スポーツ実施者を育て、目標達成のために最大限のサポートを行う視点から、現在のスポーツを支える体制を見直し、年齢や性別、障害の有無等を問わず、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち、互いに支え合うことができる新たなスポーツ環境の創出に向けた具体的方策について検討を深める。

5 期 日

平成26年2月7日（金）

6 会 場

全体会・第1・2分科会・情報交換会・展示 「ホテルかめ福」
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉4-5-2 TEL083-922-7000
第3・4分科会 「ホテルニュータナカ」
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉2-6-24 TEL083-923-1313
第5・6分科会 「西の雅 常盤」
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉4-6-4 TEL083-922-0091

7 日 程

| | | | | | |
|------------------------------|--|---|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 受付 9:15- 10:00 (45) | オープニング 表彰式 10:00- 10:30 (30) | 全体会 (シンポジウム) 10:40-12:30 (110) | 昼食休憩 12:30-14:00 (90) | 分科会 14:00-17:00 (180) | 情報交換会 17:30-19:00 (90) |
| 展示: 9:30-17:30 | | | | | |

8 参加者

地方公共団体関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、各種産業界関係者
学識経験者、その他関係者 他（約800名）

9 内容

(1) 全体会

○基調講演

講師：山口 香（第24回ソウルオリンピック競技大会柔道女子銅メダリスト）
演題：「スポーツの力～コーチングの意義と可能性～」

○シンポジウム

テーマ：「スポーツの力～新しい時代にふさわしいコーチングの実現に向けて～」
コーディネーター

勝田 隆（(独)日本スポーツ振興センタースポーツ開発推進部長/
筑波大学客員教授）

パネリスト

竹井 早葉子（NPO法人かなざわ総合スポーツクラブ指導者/
クラブマネジャー）

東海林 祐子（慶應義塾大学総合政策学部専任講師）

ヨシコ・ゼッターランド（嘉悦大学准教授/女子バレーボール部監督）

(2) 分科会

第1分科会 ◆公益財団法人日本体育協会

【スポーツが地域を、日本を元気にするためには
～スポーツ指導者が体現すべきスポーツの真の価値とは何なのか～】

第2分科会 ◆公益財団法人日本レクリエーション協会

【ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の支援について】

第3分科会 ◆公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

【熱意と能力のあるスポーツ推進委員の確保と研修機会の充実】

第4分科会 ◆公益財団法人日本障害者スポーツ協会

【地域のスポーツ現場で活かせる障害者のスポーツ指導】

第5分科会 ◆公益財団法人健康・体力づくり事業財団

【地域のスポーツ指導者・運動指導者の資質
～指導はサービスか、指導者の自己実現か～】

第6分科会 ◆公益財団法人日本体育施設協会・公益財団法人スポーツ安全協会 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

【「スポーツ施設の経年変化と安全確保」のあり方
～安全・安心な施設づくりを目指して～】

(3) 展示

生涯スポーツ・体力づくり関係団体、企業等のスポーツ関連活動を幅広く紹介するため、展示を実施します。

○展示時間 平成26年2月7日（金）9:30～17:30

10 参加申込み（平成25年12月20日（金）（締切日必着））

本全国会議に参加を希望される方は、別添の「参加申込書」に必要事項を御記入の上、下記宛先まで郵送又はFAXにてお申込みください。

<郵送の場合>

〒141-8691 東京都品川区大崎郵便局 私書箱5号
「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014」係

<FAXの場合> FAX 03-5434-9839

11 参加費等

- ① 参加費 1人2,000円（資料代込み）
- ② 弁当代 1人1,200円（希望者のみ）
- ③ 情報交換会費 1人5,000円（希望者のみ）

〔振込方法〕

参加申込書受付確認後、請求書を申込代表者宛にFAX又はE-mailにて送信いたします（FAX、E-mailがない場合は、郵送いたします）ので、請求書を御確認いただき、下記口座にお振込ください。

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金 3427831

コウエキザイダンホウジン ニ ホンタイイクキョウカイ
公益財団法人日本体育協会

12 留意事項

参加申込をされた方御本人の理由で参加できなかった場合は、受付時の配付資料を送付いたしますが、参加費等については返却をいたしません。

また、参加申込書に記載されている個人情報については、本全国会議開催に係る事務以外の目的には使用いたしません。

13 その他

詳細及びその他不明な点については、下記にお問合わせ願います。

文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課 スポーツ連携室
Tel 03-6734-2998 Fax 03-6734-3792
公益財団法人日本体育協会スポーツ推進部国内課（実行委員会事務局）
Tel 03-3481-2215 Fax 03-3481-2284

なお、本全国会議は、（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修の一つとなっています。ただし、水泳、サッカー、スキー（コーチのみ）、テニス、バドミントン、剣道、山岳、空手道、バウンドテニス、エアロビック（コーチのみ）、スクーバ・ダイビング、スポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー、プロゴルフ、プロテニス、職業スキーの資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。テニスの指導者は、2ポイントの実績になります。

また、（公財）健康体力づくり事業財団が認定する健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新のための単位を2単位取得することができます。

1 テーマ

【スポーツが地域を、日本を元気にするためには

～スポーツ指導者が体現すべきスポーツの真の価値とは何なのか～】

2 趣旨

平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」の前文には、スポーツの意義やスポーツの果たす役割の重要性が示されている。

しかしながら、全ての国民がスポーツの必要性を認識している訳ではなく、今後のスポーツ推進には、スポーツ界がこれまでとは異なる手法でその理解を求めていく必要がある。

特に、今般スポーツ指導において明らかになった暴力を行使する事案は、スポーツ界自らの反省を強く促すものであり、とりわけ、スポーツ推進の重要な役割を担っているスポーツ指導者は、スポーツの本質を理解し、自らの資質能力向上に努める必要がある。

本事案を踏まえた本会の取り組みは、スポーツの本質を掘り起こすことであり、「スポーツの価値」を見つめ直すことでもある。スポーツ指導者が体現すべきスポーツの真の価値を明らかにするとともに、スポーツ関係者はもとより、日頃スポーツに関わりのない方々へもスポーツの必要性を訴えることのできる具体的な提案の一助とする。

3 コーディネーター

森丘 保典 ((公財)日本体育協会スポーツ科学研究室室長代理)

4 パネリスト

(1) 「震災からの復興とスポーツ」
伊藤 和男 (NPO 法人石巻市体育協会会長)

(2) 「市民を支え市民に支えられるスポーツ

～スポーツ指導者として、プロチーム経営者として想うこと～
萩原 武久 ((株)フットボールクラブ水戸ホーリーホック取締役 GM/
(自営)筑波大学名誉教授)

(3) 「今こそオリンピックムーブメントへの理解を」
来田 享子 (中京大学スポーツ科学部教授)

1 テーマ

【ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の支援について】

2 趣旨

「スポーツ基本法」において、「スポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」ことが明記された。

同法の「全ての人々にスポーツを」という理念に基づくと、20代・30代の若者世代のスポーツ実施率の低さは、我が国のスポーツ政策上、優先的に取り組むべき重要な課題である。

この若者世代のスポーツ実施率の向上は、個人の健康・活力を増進し、地域の交流を促すなどスポーツの多面的な効用から社会全体に活力をもたらし、我が国の未来を明るくするものである。

また、我が国は、世界のどの国よりも早く超高齢社会を向かえ、若者世代だけで高齢者世代を支え続けることは難しくなっている。高齢者の自立が求められるこれからの社会において、従来とは異なる新しい価値観やライフスタイルを持つ高齢者を「ニューエルダー」と呼び、「企業人から地域人へ円滑に移行し、地域で楽しみ支え合う社会をどうつくるか」は、これからの重要なテーマと考えられる。

本分科会では、多くのスポーツ・レクリエーション関係者とともに、生涯スポーツ社会の実現に向けた多様な情報を共有し、若者世代やニューエルダーなどのライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の支援について検討する。

3 コーディネーター

河原塚 達樹 ((公財)日本レクリエーション協会スポーツ振興政策関連事業
チームマネージャー)

4 パネリスト

(1) 「若者世代に向けた活動支援の事例紹介 『一街コン+スポーツ露店』」 講師
松澤 淳子 (早稲田大学スポーツビジネス研究所招聘研究員)

(2) 「高齢者世代に向けた活動支援の事例紹介 『ニューエルダー元気塾』」 講師
武井 正子 (順天堂大学名誉教授)

(3) 「参加者を増やす広報戦略の基本的な考え方 『対象者にせまるタッチポイント』」
小川 素直 ((株)博報堂カスタマーマーケティングディレクター)

1 テーマ

【熱意と能力のあるスポーツ推進委員の確保と研修機会の充実】

2 趣旨

地域のスポーツ推進の中核を担うスポーツ推進委員は、ますますその重要性を増している。平成24年3月に策定されたスポーツ基本計画(文部科学省)において、今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策として、「地域のスポーツ指導者等の充実」を示しており、具体的な施策の一つとして「スポーツ推進委員に熱意と能力のある人材の登用、研修機会の充実」を掲げている。

そこで、地域のスポーツ推進に重要な役割を担っているスポーツ推進委員の資質・能力やその研修の在り方について、従来の体育指導委員制度とは異なる視点から、学識経験者、スポーツ評論家、スポーツ推進委員などによる研究協議を行い、新たな方向性を探るとともに、これからのスポーツ推進委員制度のさらなる充実・発展に資する。

加えて、昨今、スポーツ界を挙げて根絶を目指している暴力問題に関して、地域のスポーツ指導者であるスポーツ推進委員の立場からのアプローチの在り方などについても具体的な検討を行い、スポーツを巡る今日的な課題の解決にも資する。

3 コーディネーター

中西 純司 (立命館大学教授)

4 パネリスト

- (1) 「スポーツ推進委員への有能な人材の確保と資質・能力向上への提言」
山本 浩 (法政大学教授/スポーツ評論家)
- (2) 「環境が能力を育てる～スポーツ推進委員がつくる地域の未来」
曾根 幹子 (広島市立大学教授)
- (3) 「高松市のスポーツ推進委員の委嘱や研修の現状と課題」
森 千佳子 (香川県高松市スポーツ推進委員連絡協議会理事)

1 テーマ

【地域のスポーツ現場で活かせる障害者へのスポーツ指導】

2 趣旨

平成24年3月、スポーツ基本法に基づくスポーツ基本計画が策定され、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、地域のスポーツ環境の整備などが掲げられた。

平成24年度に公益財団法人笹川スポーツ財団が実施した調査（文部科学省委託調査）によると、総合型地域スポーツクラブの約4割に障害者の参加があると報告されている。

今後さらに、障害者が身近な地域において、生涯にわたりスポーツを楽しむためには、ソフト・ハードの両面から環境づくりを進めていくことが必要である。

本分科会では、このような点を踏まえ、地域で障害者が気軽にスポーツに参加できる環境づくりや、活動へのヒントとなるキーワード「ひとづくり」「環境づくり」「こころづくり」をもとに、現在地域で行われている先進的な取組事例の報告を交えながら、障害の有無を問わない、地域のスポーツ・レクリエーション活動のさらなる普及・振興について検討する。

3 コーディネーター

大久保 春美

（（公財）日本障害者スポーツ協会技術委員長／
上級障害者スポーツ指導員）

4 パネリスト

(1) 「障害者スポーツを理解してもらうために」
阿部 正幸 （（公社）全国スポーツ推進委員連合副会長／
（一社）東京都スポーツ推進委員協議会会長）

(2) 「障害の有無に関わらず同じフィールドで楽しめるスポーツ！
～トランポ・ロビックス～」

古谷 久代 （HAT・Robics JAPAN副会長／
加古郡稲美町スポーツ推進委員会副委員長）

(3) 「障害者スポーツのノウハウを活かすために」

井上 登代子 （菊川スポーツクラブマネジャー／
山口県スポーツ推進審議会委員生涯スポーツ担当）

1 テーマ

【地域のスポーツ指導者・運動指導者の資質

～指導はサービスか、指導者の自己実現か～】

2 趣旨

スポーツや運動の指導者は、参加者にとってスポーツの入り口に立ち、方向を指し示す羅針盤であり、指導者によって、スポーツの楽しさやその効果も異なると考えられる。

スポーツ指導は、生涯にわたる運動・スポーツの付き合い方を左右する要因の一つであると考えられる。これまで、我が国における「指導」は、技術レベルの高い者がその技術を伝達することを中心に進められてきたが、健康運動指導の場合、運動に興味・関心のない者をいかに運動をする気にさせ、効果を上げることが命題であり、サービス業であるという職業意識も強いと考えられる。

一方、地域のスポーツ指導者においては、ボランティア性が尊ばれ、指導する側とされる側が一体となっても自己実現を図ろうとするスポーツのすばらしさも存在する。

そのような現場において、地域のスポーツ指導者に「指導力」はどこまで求められるのか、新しい時代の指導者として持つべき資質とは何かを考えることとする。

3 コーディネーター

山口 泰雄 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授)

4 パネリスト

(1) 「健康づくり運動指導者の社会的役割と職業としての可能性」

有吉 与志恵 (健康運動指導士/NPO 法人日本体調改善運動普及協会会長)

(2) 「結果を出せるスポーツ・運動指導者

～元気・活気を引き出すコミュニケーション術・ペップトーク」

岩崎 由純 (アスレティックトレーナー/SP) 財団法人日本コアコンディショニング協会会長)

(3) 「地域のスポーツ指導者に求められるボランティア性と指導力のはざままで」

太田 敬介 (コーチ(陸上競技)/NPO 法人SCC理事長)

＜第6分科会＞

◆公益財団法人日本体育施設協会
◆公益財団法人スポーツ安全協会
◆公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

1 テーマ

【「スポーツ施設の経年変化と安全確保」のあり方
～安全・安心な施設づくりを目指して～】

2 趣旨

近年、健康の保持・増進に対する国民の関心が高まり、スポーツを実践する人々が増加するに伴い、スポーツ施設のメンテナンスの不備に起因する事故も増えている。事故は、スポーツの施設の安全性、信頼性を損ない、重大な問題に発展する恐れがある。即ち、利用者に取り返しのつかない被害や損傷をもたらすだけでなく、スポーツが求める記録や目的への悪影響を及ぼすといった、社会的、とりわけスポーツ界への責任をも包含している。事故は未然に防ぐことが肝要であり、劣化への対応は計画性を持って確実に実践していくことが必要である。

スポーツ施設の部材や設備は、環境条件、使用条件、経年等により劣化が避けられないことから、施設本来の目的を果たし、施設を経済的に維持・運営していくためには適切な維持保全計画の立案と実施が不可欠であるが、近年、地方公共団体の財政事情もあり、メンテナンスのための予算が十分確保できていない状況にある。

本分科会では、このような状況の中で安全・安心なスポーツ施設を保全し事故を未然に防止するための方策について研究協議するものである。

3 コーディネーター

石原 智也 ((株)NTT ファシリティーズ／(公財)日本体育施設協会理事)

4 パネリスト

(1) 「スポーツ器具の維持管理」

梅原 宏 (セノー(株)／(公財)日本体育施設協会施設用器具部会事務局長)

(2) 「各種スポーツフロアの維持管理」

佐藤 民夫 (日本床工事工業(株)／(公財)日本体育施設協会屋内施設フロア部会事務局長)

(3) 「スポーツ施設の日常管理(メンテナンス)」

森 徳幸 ((公財)浦安市施設利用振興公社経営企画課営繕担当主幹)

「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014係」行き

生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014 参加申込書

【申込代表者】 ※個人でお申込みの場合もご記入ください。

(平成 年 月 日)

| | | | | | | |
|----------|--|-----------------|------|---|-----|--|
| 団体名又は会社名 | | 書類等 送付先 ↑ | 郵便番号 | — | | |
| フリガナ | | | 住所 | | | |
| ご担当者名 | | | 宛名 | | | |
| | | | 電話 | | FAX | |
| | | E-MAIL (必須) | | | | |

【参加者】

*【申込代表者】宛に 請求書・参加証等をお送りしますので、所属部署等正確にご記入ください。

| フリガナ 氏名 | 年齢 | 性別 | 団体名又は会社名 | 参加希望(※1) | | 弁当 (※2) | 情報 交換会 (※3) | 車椅子 (※4) | 備考(※5) | |
|------------|----|----|----------|----------|------|------------|-------------------|-------------|--------|------|
| | | | | 全体会 | 分科会 | | | | | |
| | | | | | 第1希望 | | | | | 第2希望 |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

※不足の場合はコピーをしてお使いください。

(※1) 全体会・分科会の参加希望

- ・「全体会」の欄については、参加希望の場合は○印を記入してください。
 - ・「分科会」の欄については、希望する第1～6分科会番号をご記入ください。
 - ・会場の都合により、第2希望になる場合もございますのでご承知おきください。
- (※2) 弁当……………当日の昼食弁当をご希望の場合は○印をご記入ください。
- (※3) 情報交換会……………参加希望の場合は○印を記入してください。
- (※4) 車椅子……………車椅子でご来場の方は○印を記入してください。
- (※5) 備考……………手話通訳が必要な方は、備考欄に記入してください。

〔個人情報の取扱いについて〕

参加申込書に記載された個人情報は本会議の運営管理の目的にのみ利用します。
なお、主催者が作成する本会議の参加者名簿に氏名・所属名を掲載する予定です。

○申込締切り日：平成25年12月20日(金)

○申込先：

< 郵送の場合 >

〒141-8691 東京都品川区大崎郵便局 私書箱5号
「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014」係

< ファックスの場合 >

FAX 03-5434-9839

○申込みに関するお問合せ先：

電話番号：03-3490-5332

受付時間：10時～17時

(土・日祝日及び年末年始12月30日～1月3日を除く)